銅賞 細川義人君 北海道職業能力開発大学校建築施工システム技術科 矩形中の地形 project landform in the rectangle

札幌都心部の典型的な街区を敷地として選び、そこに建つ建築物の延命を図りながら場所の魅力を高める提案である。街区全体に施す手法を「ボイド」、「削る」、「補強」の3つに限定することで、多様でありながら秩序のある個性を作り出すことに成功している。しかし、どのような魅力が得られたかについての表現が弱く、総花的なのが惜しまれる。魅力とは、格子状街区における新しい風景なのか、公共スペースの居心地のよさか、テナント空間の性能向上と安全性確保か、環境負荷の削減なのか。どれも深いテーマであるが、重要だと思うものを果敢に探求することで案の個性と強度を獲得できたのではないか。

(文責:加藤 誠)



